

夏のおすすめ本 - その3 -



ひとっこ 特別篇 vol.3 (7月16日)

ピックアップ 新刊pickup 3 今回は知識の絵本

① 『いし』

なかがわ 中川ひろたか // 作

アリス館 2020年6月刊

あさりのスパゲッティを たべてたら、小さいいしが でてきた。これは、いしが ぐだけて すなになったのを、あさりが すいこんだものなんだって。

道におちている いし、おほか、宝石。身の回りにある いしは、

一体どこから来たのかな？

さあ、いしのひみつを さぐるぼうけんに でかけてみよう！



作 中川 ひろたか 絵 高島 那生

② 『プラスチック星には

なりたくない!

~地球のために
できること~』



ニール・レイトン // 作・絵 いわじょうよしひと // 訳
高田秀重 // 日本語版監修

ひさかたチャイルド 2020年5月刊

ニュースでよく見るプラスチックのゴミ問題。

「生分解」「マイクロプラスチック」「リデュース」

「リユース」「リサイクル」といった少し難しい

言葉が、この絵本では分かりやすく紹介されています。

それだけではなく、この問題を解決するために、自分たちが少しずつでもできることも、きちんと書かれています。

③ 『かなへび』

竹中踐 // ぶん 石森愛彦 // え

福音館書店 2020年4月刊

なまえは「かなへび」でも、へびではありません。とかげの一種です。

おうちや学校の庭、林や原っぱなどみんなのすぐそばに住んでいます。小さいとかげですから、食べものも小さな虫。時には猫や鳥におそわれますが、じぶんでしっぽをちょん

ぎって逃げちゃうことも。

小さなおかげが1年間を

どう過ごすのか、この本で

見に行きましょう。



かなへび

竹中 踐 石森 愛彦



-すべてののはじまり-

◆ 『宇宙のれきし』

はじめて読む太陽系の本

キャサリン・バー // 文

スティーブ・ウィリアムズ // 文

エイミー・ハズバンド // 絵

しまだようこ // 訳

絵本塾出版 2019年12月刊

請求記号：J-EC-U

宇宙はいつ、どうやって
生まれたの？

-いつかは会いたい！-

◆ 『うちゅうじんはいない！？』

ジョン・エイジー // 作・絵

久保陽子 // 訳

フレーベル館 2019年4月刊

請求記号：JB-E0-U

◆ 『宇宙人っているの？』

ながぬまたけし // 作 吉田尚令 // 絵

金の星社 2016年6月刊

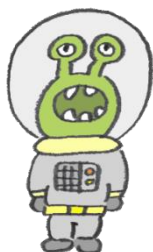
請求記号：7B-EC-U

◆ 『みらいのえんそく』

ジョン・ヘア // 作 椎名かおる // 文

あすなろ書房 2019年6月刊

請求記号：JH-E0-M



ちきゅう ちか ほし
-地球にいちばん近い星-

◆ 『ぬすまれた月』

和田誠 // 著

岩崎書店 2017年10月刊

請求記号：7-2017-10

◆ 『つき ちきゅうのいちばんの
ともだち』

ステイシー・マカナルティー // 原作

スティービー・ルイス // 絵

千葉茂樹 // 訳 渡部潤一 // 監修

小学館 2019年7月刊

請求記号：J-EC-T

◆ 『月でたんじょうパーティーを
ひらいたら』

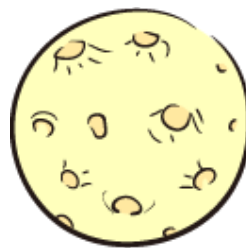
ジョイス・ラパン // 文

シモーナ・チェッカレリ // 絵

原田勝 // 訳 縣秀彦 // 監修

廣済堂あかつき 2019年11月刊

請求記号：JB-EC-T



うちゅう い
-宇宙へ行こう！-

◆ 『ロケット発射場の一日』

いわた慎二郎 // 作・絵

講談社 2017年7月刊

請求記号：J-EC-R